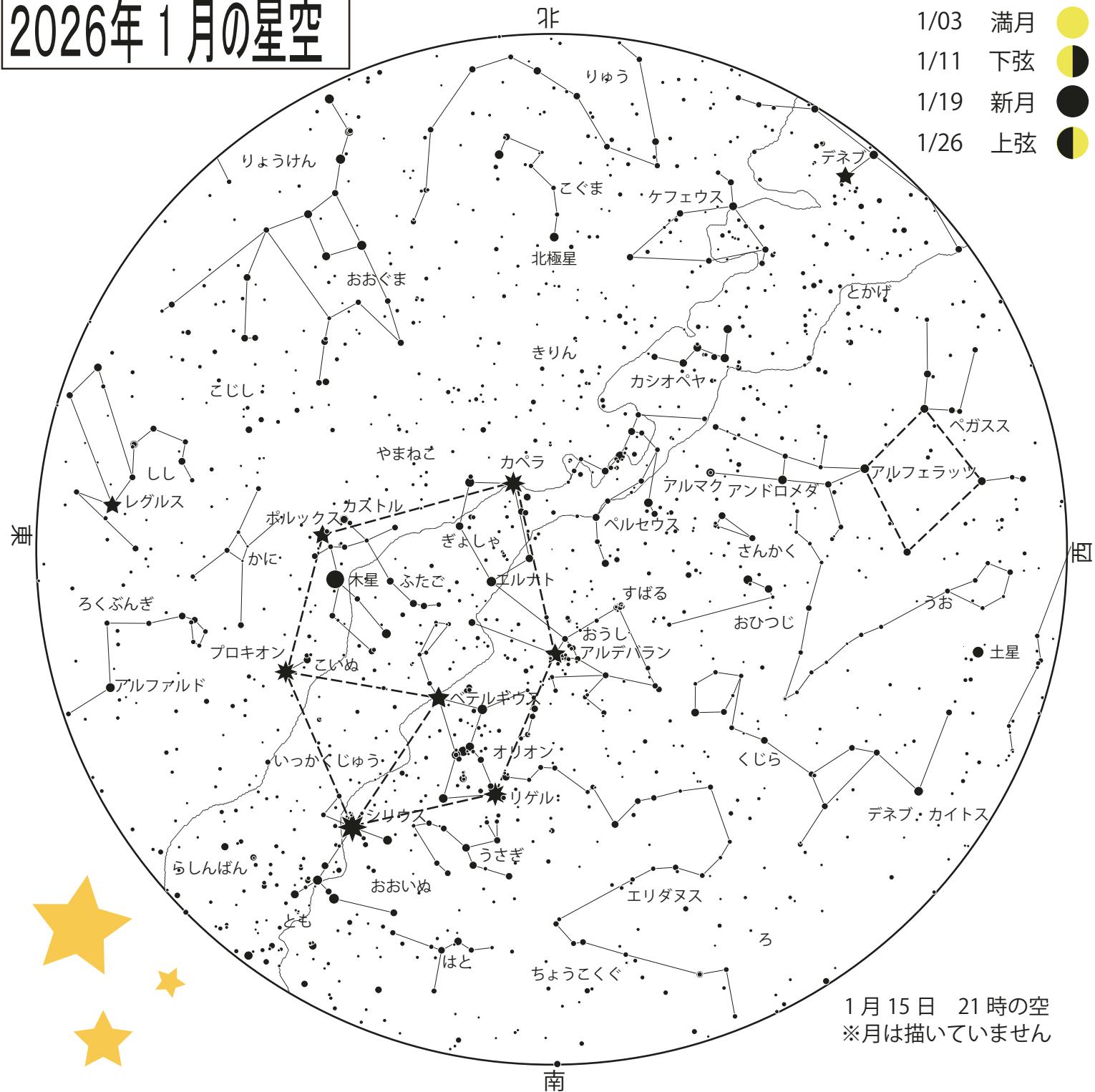


# 姫路で見る 2026年1月の星空

図の中心が頭の真上(天頂)、まわりの円が地平線です。  
この星図は見ている方向の方位を下にしてください。



宵の空は、**おおいぬ座**のシリウス、**こいぬ座**のプロキオン、**ふたご座**のポルックス、**ぎょしゃ座**のカペラ、**おうし座**のアルデバラン、**オリオン座**のリゲルを結ぶ「冬のダイヤモンド」に、**オリオン座**のベテルギウスと、**ふたご座**を西に移動（逆行）しているマイナス2.7等からマイナス2.6等の明るい**木星**が加わって、彩りゆたかでにぎやかです。

三大流星群の一つである「**しぶんぎ座流星群**」の極大は1月4日早朝で、4日未明が観察のチャンスとなります。月が明るいため条件は良くありませんが、月が視界に入らないように工夫すると1時間あたり15個から20個ほど見えると予想されています。放射点は**うしかい座**とりゅう座の境界あたりです。

夕方の西の空には、**土星**が見えています。みずがめ座から**うお座**にかけての領域を東に移動（順行）していて、明るさは1.0等で、23日には細い月が**土星**に接近します。